

「清く、明るい、豊かな町」

3ヶ年実施計画決まる

篠本開発と幹線道路網の整備が目玉

第9次総合3ヶ年実施計画は町の将来像である「清く、明るい、豊かな町」を実現するため、「活力と調和のタウン計画」に基づいて、今年度から平成4年度までの3年間の具体的な計画を示したものです。また、この計画は、基本的諸条件の整備・地場産業の振興・教育文化の向上・社会福祉の充実・生活環境の整備・コミュニティ行政・行財政運営の近代化の7章からなりたっています。尚、この計画は社会経済情勢の変化等により、修正及び補完等が必要な場合は、状況に応じた弾力的な計画の運用を図ることもあります。また、この計画をすべて達成するため、町民の皆さんの絶大なるご理解とご協力をお願いします。

21世紀にはばたくまち (基本的諸条件の整備)

町民の日常生活の利便性を確保するため、交通網の整備と迅速かつ的確な情報伝達機能の充実を図ります。特に南北縦断道路の整備については、「あけぼの橋」を中心に上部は、小田部から県道八日市場・八街線までの約2.6kmを拡幅改良し、車道6m・自転車歩行者道2.5mの道路にしていきます。(平成9年度完成)下部は桑郷から入までの約1.6kmの新設工

事を行います。また、尾垂地先の県道一宮線と片貝線を結ぶ「しおさい道路」の延伸についても将来的にこの道路と連絡すべく計画しました。自転車・歩行者道の整備については、「光スクールライン」(原方・白浜地区)の整備を引続き行います。また、情報伝達機関の整備については、「広報ひかり」・「防災行政無線」の充実を図るとともに、新た

に「ドリームタウンひかり」を発行します。

●3年間に計事業

- ① 道路舗装の新設 (事業費 8,566万円)
- ② 農免道路の整備 (事業費 3億3,410万8千円)
- ③ 交通安全施設の整備 (事業費 8,100万円)
- ④ 道路の改良 (事業費 4,255万円)
- ⑤ 道路排水の整備 (事業費 4億6,900万円)
- ⑥ 直営舗装 (事業費 1億5,400万円)
- ⑦ 「広報ひかり」の発行 (事業費 1,590万円)
- ⑧ 「ドリームタウンひかり」の発行 (事業費 4,255万円)



改良工事が行われる幹線道路
(小田部地先)

活気あふれる産業のまち (地場産業の振興)

基幹産業の農業は、生産性の高い水田農業を確立するため、農業生産の基礎的条件の整備・経営規模の拡大・生産